

令ニ定ムルモノヲ除クノ外國民體力法ニ依ル但シ同
法第二十一條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

國民體力法中主務大臣トアルハ滿洲國駐劄特命全權
大使トシ地方長官トアルハ關東州廳長官トシ市町村
長トアルハ市長又ハ民政署長トシ市町村内トアルハ
市又ハ民政署ノ管轄區域内トシ道府縣トアリ又ハ道
府縣、市町村トアルハ市トシ監獄、矯正院、少年教
護院トアルハ關東監獄トシ保健所トアルハ關東醫院又
ハ關東保健館トシ本法トアルハ本令トシ本法施行地
内トアルハ關東州内トシ勅令トアルハ關東局令トス

第二條 國民體力管理醫ノ選任又ハ解任ハ關東州廳長
官之ヲ行フ但シ特別ノ事情ニ依リ必要アルトキハ大
使ノ定ムル所ニ依リ學校長又ハ國ノ事業場若ハ施設
ノ長ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第三條 體力検査ニ要スル費用ニシテ左ニ掲グルモノ
ハ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ國庫之ヲ負擔ス

- 一 國民體力管理醫手當
- 二 體力検査補助者手當
- 三 藥品其ノ他消耗品ノ費用

附則
本令施行ノ期日ハ大使之ヲ定ム

國民體力法施行規則中改正の件公布

國民體力法施行規則中改正の件は昭和十八年三月二
十五日付官報を以て左の如く公布せられた。

國民體力法施行規則中改正ノ件

(昭和十八年三月二十五日
厚生省令第七號)

様式第一號體力検査票裏面國民體力管理醫意見欄中

「國民體力向上修練會參加ノ要・否體力向上施設ノ利
用」ヲ「健民修練否要」ニ改ム

附則

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法施行令中改正の件公布

船員保險法施行令中改正の件は昭和十八年三月三十
日付官報を以て左の如く公布せられた。

船員保險法施行令中改正ノ件

(昭和十八年三月二十九日
勅令第二百三十五號)

第七條第二項ヲ左ノ如ク改ム

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促手数料ヲ
完納シタルトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ計算シタル金
額ガ十錢未満ナルトキハ延滞金ヲ徵收セズ

第十六條第三號中「嫡出子、庶子及私生子ノ間ニ在リテ
ハ嫡出子及庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ」ヲ「嫡出子
及嫡出ニ非ザル子ノ間ニ在リテハ女ト雖モ嫡出子及庶
子」ニ改ム

第十七條ノ二 船員保險法第二十二條ノ二第一項ノ規
定ニ依ル區域ハ瀬戸内(和歌山縣海草郡田倉崎ヨリ

兵庫縣津名郡生石鼻ニ至ル線、兵庫縣三原郡門崎ヨ
リ徳島縣板野郡孫崎ニ至ル線、愛媛縣西宇和郡佐田
岬ヨリ大分縣北海部郡關崎ニ至ル線及福岡縣企救郡
門司崎ヨリ山口縣豐浦郡甲山ニ至ル線ヲ以テ區劃シ
タル海面)ヲ除ク太平洋及印度洋トス

第十八條乃至第二十條 削除

第二十一條 船員保險法第二十八條ノ二ノ期間ハ被保
險者タル資格ヲ喪失シタル日後十日トス

第二十一條ノ二 地方長官ハ道府縣醫師會長、道府縣
齒科醫師會長又ハ道府縣藥劑師會長ノ意見ヲ聽キ保
險醫又ハ保險藥劑師ヲ指定スベシ

保險醫又ハ保險藥劑師ガ療養ノ給付ヲ擔當スルノ責
務ヲ怠リ其ノ他保險醫又ハ保險藥劑師トシテ不適當
ト認ムベキ事由アルトキハ地方長官ハ前項ノ指定ヲ
取消スコトヲ得

第二十一條ノ三 保險醫若ハ保險藥劑師又ハ之ヲ使用
スル者ガ療養ノ給付ニ關シ請求スベキ費用ノ額ハ厚
生大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官之ヲ算定ス

日本醫師會長、日本齒科醫師會長又ハ日本藥劑師會
長ノ意見ヲ聽クベシ

第二十二條中「第二十八條第二項」ヲ「第二十八條第三
項」ニ改ム

第二十三條第二號中「其ノ指定セザル」及同條第三號中
「地方長官ノ指定セザル」ヲ「保險醫及厚生大臣若ハ地
方長官ノ指定スル者以外ノ」ニ改メ同條ニ左ノ一號ヲ
加フ

四 其ノ他厚生大臣ノ定ムル場合ニ於テ被保險者又
ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタルトキ

第二十六條中「船員保險法第二十八條第三號ノ規定ニ
依リ」ヲ「病院又ハ」ニ改ム

第二十六條ノ二 厚生大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ
船員保險法第三十二條第一項ノ期間ヲ超エ尚六月間